MAP-980　AW61　2024年1月9日発行
＊MAP980＊

LIXIL 電動ドアクローザ リフォーム用 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。
●この説明書は、リフォーム現場における電動ドアクローザの取付け説明書です。

■取付けされる方へのお願い

⚠警 告…取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠注 意…取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠警 告

●電気工事は、電気工事士の有資格者が行ってください。
法令、規定及び取付け説明書にしたがわず誤った工事を行うと事故や故障のおそれがあります。
●開口部から内部に金属類を差込んだり、落としたりしないでください。火災・感電・故障のおそれがあります。
●機器を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。
●電源コードをキズ付けたりしないでください。コードが破損して感電・火災のおそれがあります。
●電源を入れた状態で配線・取付け・結線をしないでください。感電や故障のおそれがあります。
●使用中に煙が出る、異臭がするなどの異常が発生した場合は速やかに使用を止めて、電源プラグを抜いてください。火災・感電のおそれがあります。
●万が一、電源プラグ、アダプター、電動ドアクローザに水かかりがあった場合は使用を止めてください。感電のおそれがあります。
●軒や庇を十分確保し、扉に直接雨水がかからない場所に設置してください。感電のおそれがあります。
●取付けねじを取付ける際、配線ボックス内の線を傷つけないように注意してください。火災や破損のおそれがあります。
●AC100V配線と小勢力配線の間には内線規程により、絶縁セパレータなど堅ろうな隔壁を取付けて絶縁してください。火災・感電のおそれがあります。

⚠注 意

●ドアクローザの落下・故障のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・各種取付けねじは、3.0N・m{30kgf・cm}以上のトルクまたは指定のトルクで締付けてください。
・各種取付けねじは、付属のねじを所定個所に使用してください。
・固着剤付きのねじは、2度締めしたり、水に触れたものは使用しないでください。

■取付け上のお願い

●電源を入れる前に誤配線などがないことを確認してください。
誤配線のまま電源を入れると、故障の原因となります。
●機器に液体(水・ジュース・薬品など)をかけたり、揺らさないようにしてください。
故障の原因となります。

目次・取付け部品一覧

■目次

サッシ工事区分

共通

■取付け部品一覧 → (P.2)
■梱包内容 → (P.3)
■推奨納まり → (P.4)
■各部の名称 → (P.5)
■はじめに（躯体内配線コードと通電金具の接続） → (P.6)

電動クローザの取付け

■ブラケットの取付け → (P.8)
■クローザ本体の取付け → (P.9)

電気工事区分

配線の取付け

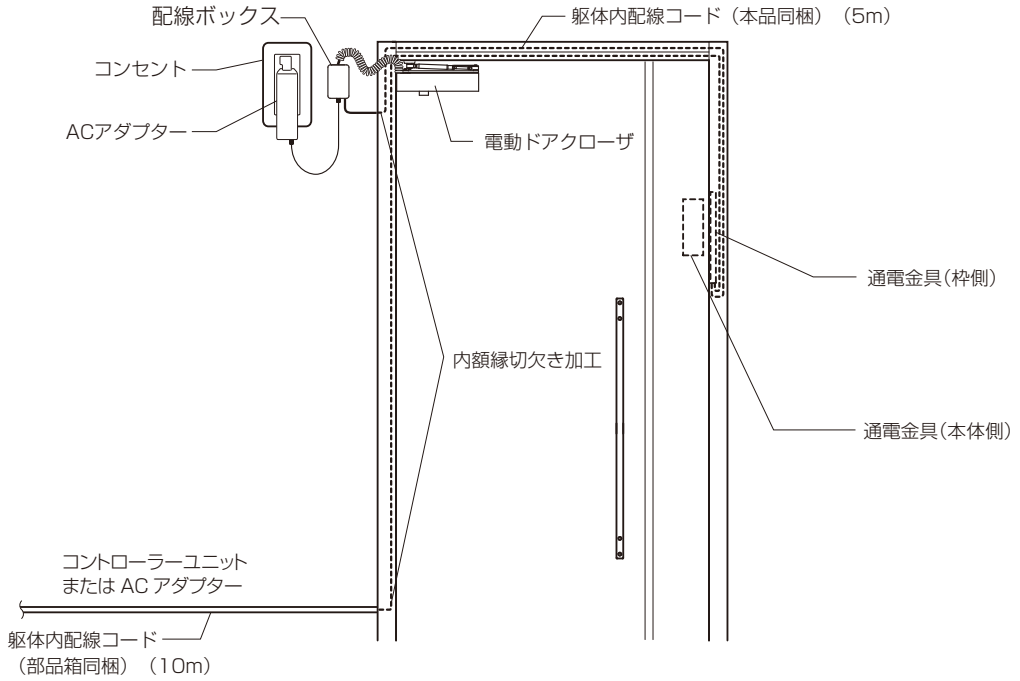
■配線ボックスの取付け → (P.10・11)
■配線の接続 → (P.12・13)
■コンセントプラグの差込み → (P.14)

共通

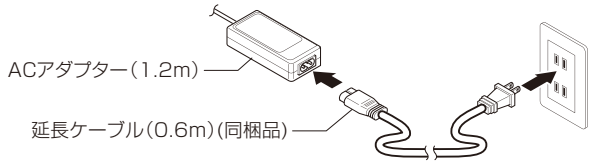
■作動確認 → (P.15)
■カバーの取付け → (P.17)
■商品仕様 → (P.17)

■取付け部品一覧

コンセントの位置など配線長が届く範囲をご確認のうえ、取付けを行ってください。



本製品は、AC100V コンセントを２口必要とします。
コンセントを推奨位置に設置できず、付属の延長ケーブルで長さが足りない場合は、延長コード(現地手配品)が別途必要です。



梱包内容

●部品箱

名称	本体	本体カバー	リンクブラケット
姿図		ゴムキャップ シャフトカバー ※シャフトカバーとゴムキャップは本体カバーに取付け済み	
入数	1	1	1

名称	ACアダプター	L型プラグ	延長ケーブル ※1	カールコード	ホルダー ※1	M5用スパナ
姿図						
入数	1	1	1	1	1	1

名称	躯体内配線（5m）	配線ボックス	取付説明書	リフォーム用取付説明書（本紙）	取扱い説明書
姿図		※内部に取付けねじ2本同梱			
入数	1	1	1	1	1

名称	φ3×12ナベタッピンねじ1種	M5×10アプセットボルト（平座金付）	M5×16丸皿小ねじ（固着剤付）	M5×12丸皿小ねじ
姿図	※ホルダーと同梱			
入数	4	1	4	4

使用しません	
φ5×25特皿タッピンねじ（D=6）1種	M5×12 皿小ねじ＋皿用平座金
4	1

●別部品箱梱包品

名称	躯体内配線コード（10m）
姿図	
入数	1

●現地手配品

名称	延長コード	配線カバー	石膏ボードアンカー
姿図			

※部品箱（エントリーセット）に同梱されています。

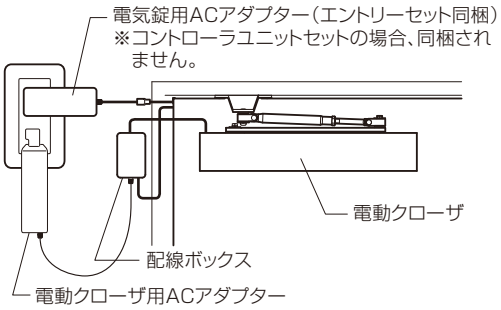
※1 推奨位置にコンセントが設置できない場合にご使用ください。

推奨納まり

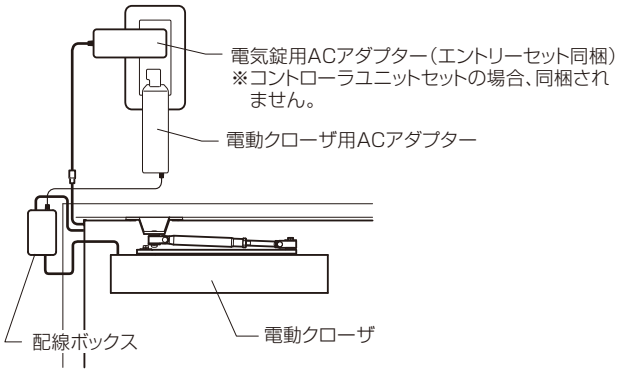
■取付け位置

玄関ドア吊元の横側または上側のスペースを確認して、コンセント(現地手配)の取付位置を決めてください。
※コンセントの工事は電気工事区分になります。
吊元側スペースのコンセントに電動クローザ用ACアダプターと電気錠用ACアダプターを接続する場合は、下記のような納まりになります。

▼ 例1：吊元横側に取付ける場合 ▼

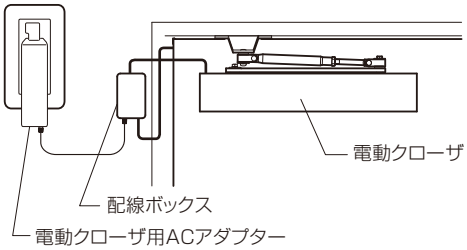


▼ 例2：上側に取付ける場合 ▼

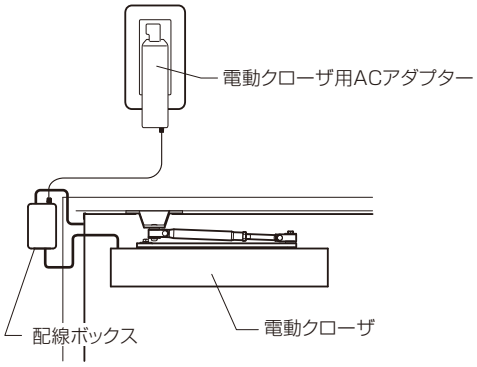


吊元側スペースのコンセントに電動クローザ用ACアダプターのみ接続する場合は、下記のような納まりになります。

▼ 例3：吊元横側に取付ける場合 ▼



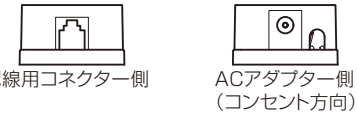
▼ 例4：上側に取付ける場合 ▼



お願い

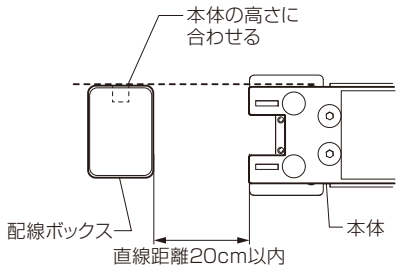
※コンセントの位置に合わせて配線ボックスの向きを変更してください。

配線ボックス上面・下面

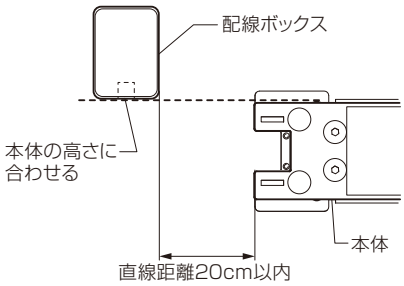


※配線ボックスは、本体の高さに合わせて設置してください。
※配線ボックス端部と本体コネクタ間が直線距離で20cm以内になるよう設置してください。
(20cmの紐が届く距離)
設置が難しい場合は額縁見込み面への取付けも可です。
その際、開閉時に干渉がない事を確認し取付けてください。
※コネクターの上で高さを合わせる向きが変わります。

配線用コネクターが上側



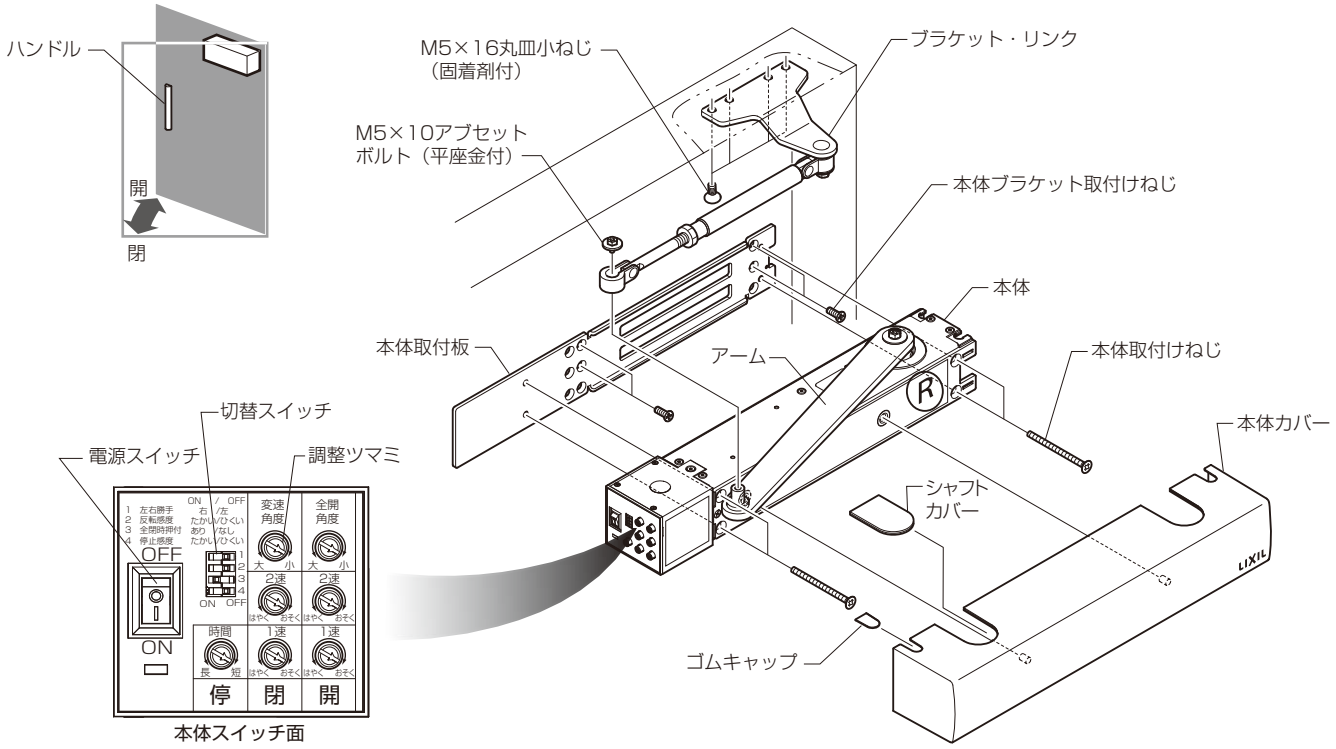
配線用コネクターが下側



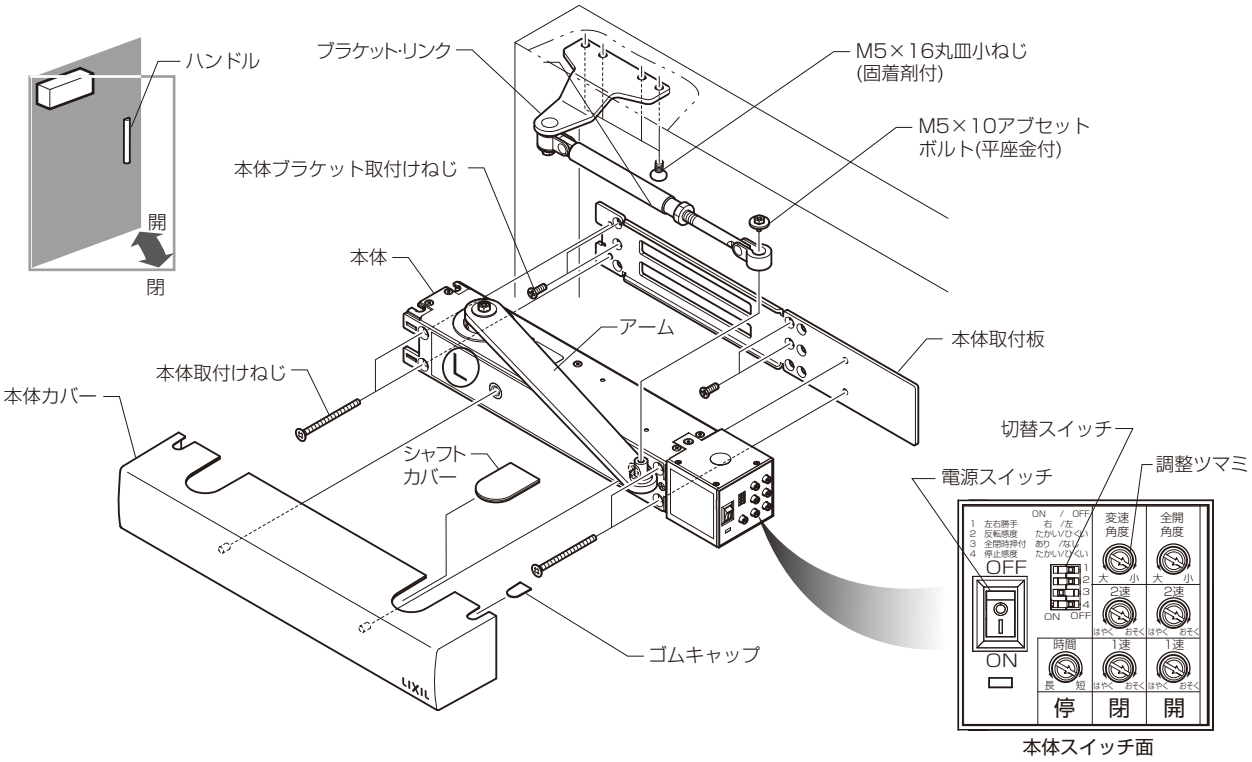
各部の名称

■内観右吊

※本商品は左右開き兼用です。



■内観左吊



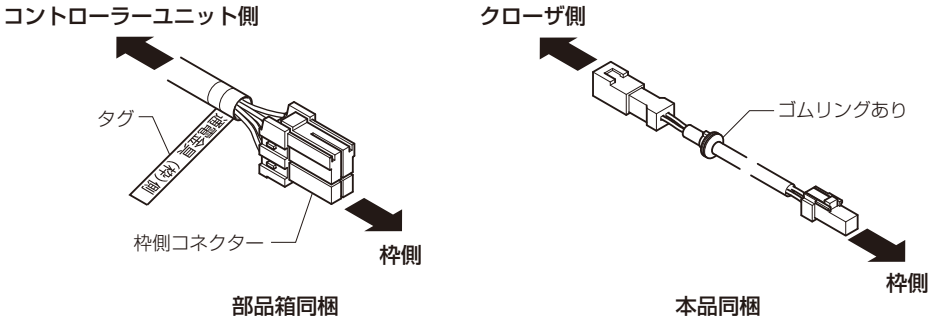
※ L/R の向きにご注意ください

はじめに（躯体内配線コードと通電金具の接続）

躯体内配線コードは部品箱（エントリーセット）同梱（10m）のと本品同梱（５ｍ）をそれぞれ通電金具（枠側）と接続する必要があります。
躯体内配線コードは必ず枠組立て前に枠内に通してください。

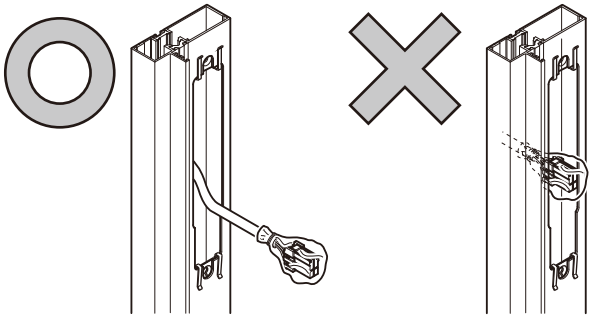
お願い

❶躯体内配線コードは、コネクター形状の違いにより、向きがあります。枠内に通す前に必ず、タグの表示内容とコネクター形状を確認し、躯体内配線コードの向きがあっていることを確認してください。



❷躯体内配線コードの枠側コネクターは切欠き穴から確実に引き出してください。

※コネクターのビニール袋は被せた状態にしてください。通しやすくなります。



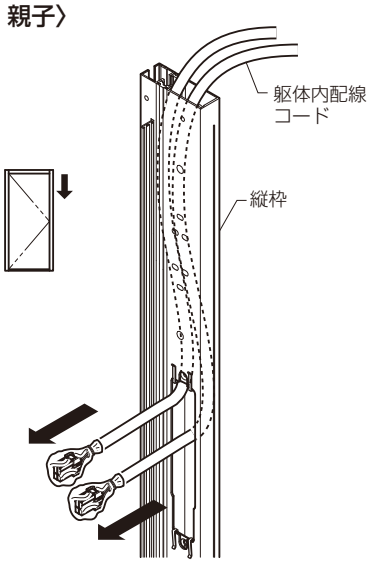
❸躯体内配線コードを通した後は、枠にキズをつけないようにテープなどでコネクターを固定してください。
❹躯体内配線コードのはさみ込みによる破損・断線などのないようにしてください。

①部品箱（エントリーセット）同梱の躯体内配線コードと本品同梱の躯体内配線コードを吊元側縦枠に通してください。

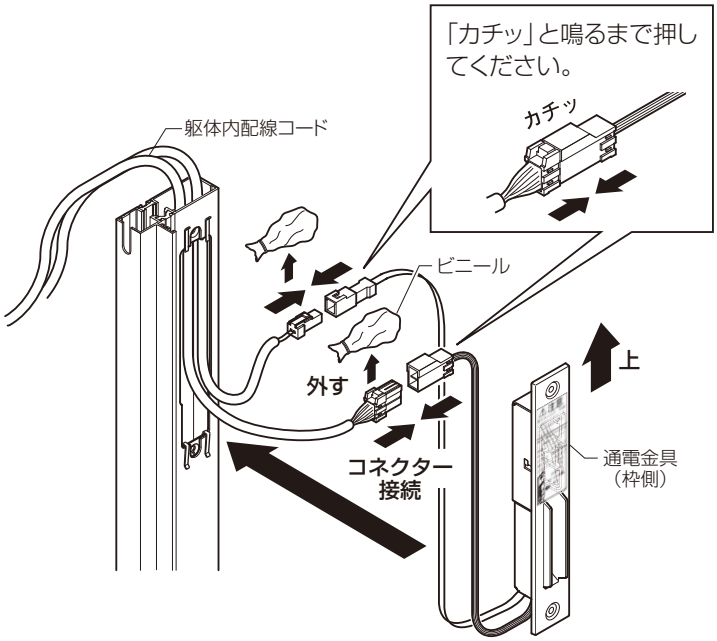
お願い

※コネクターのビニール袋は被せた状態で通してください。

〈片開き・親子〉



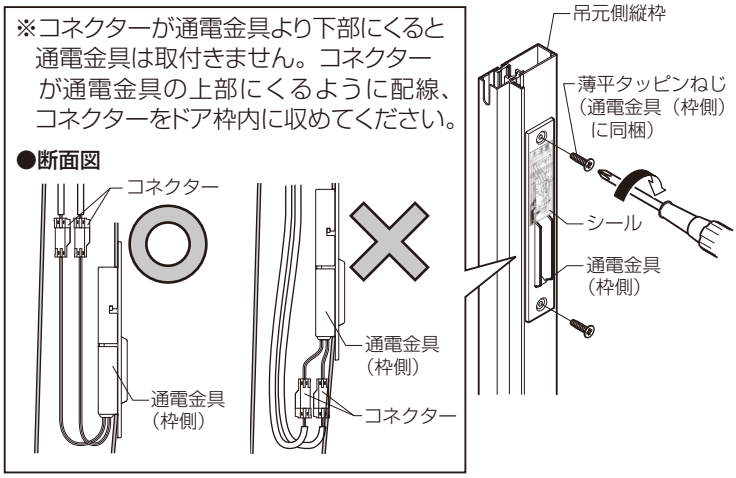
②コネクターを通電金具(枠側)に接続します。



③通電金具(枠側)を枠に取付けてください。

お願い

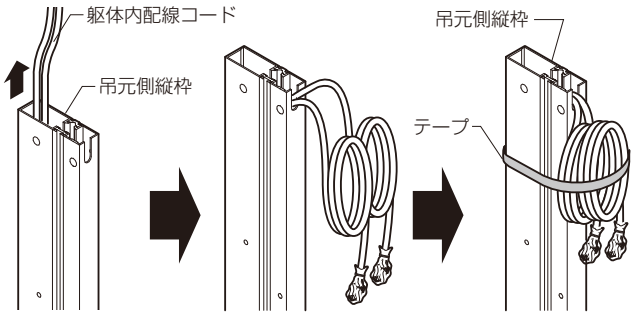
※電動ドライバーは使用しないでください。高トルクのため、部品が破損し不具合につながることがあります。



④縦枠上部のU字溝から躯体内配線コードを引き出し、躯体側躯体内配線コードをテープなどでまとめます。

お願い

※ドア枠内の躯体内配線コードにはテンションがかからないようにしてください。接触不良により不具合のおそれやメンテナンス時に部品の交換ができなくなります。通電金具(枠側)のシールはコネクター接続時まで剥がさないでください。



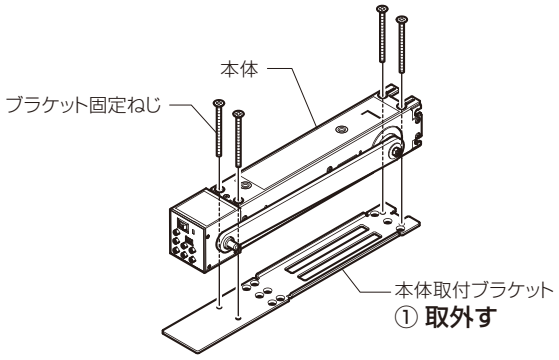
※内額縁取付けの際、躯体内配線コードを引き出すための切欠き加工が必要です。枠に同梱の取付説明書を参照してください。

電動クローザの取付け

■ブラケットの取付け

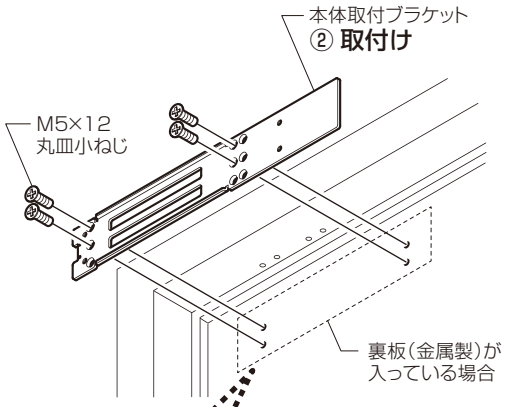
①クローザ本体からブラケット固定ねじを取外して、本体取付ブラケットを取外します。

お願い
※取外したねじは再度使用しますので紛失しない様に保管してください。

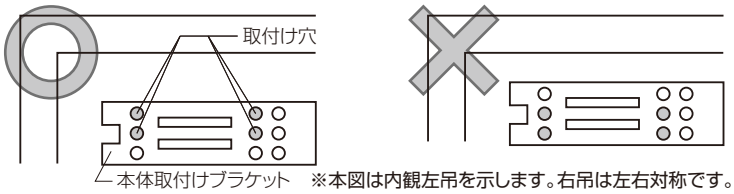


②本体取付ブラケットを玄関ドアにM5×12丸皿小ねじで取付けます。

お願い
※裏板が入っていない場合(木片の場合)は予備ねじM5×25丸皿タッピンねじを使用してください。

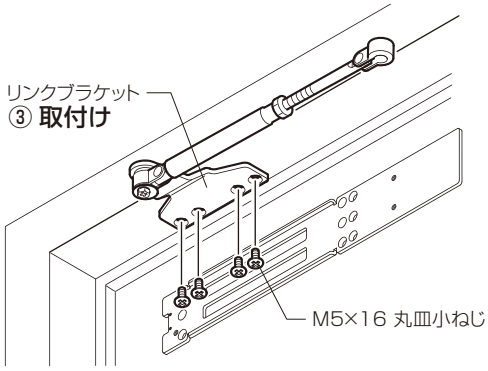


お願い
※本体取付けブラケット取付け時は必ず、上側4つの取付け穴を使い、ねじで取付けてください。



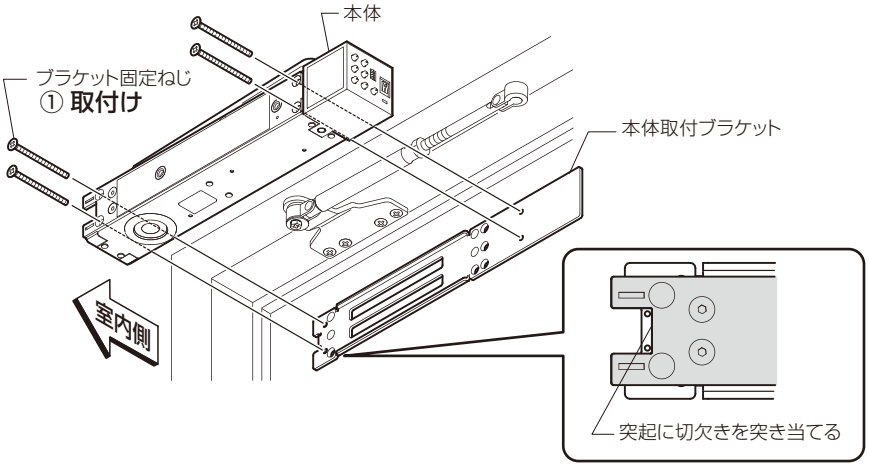
※本図は内観左吊を示します。右吊は左右対称です。

③リンクブラケットをドア枠にM5×16丸皿小ねじで取付けます。



■クローザ本体の取付け

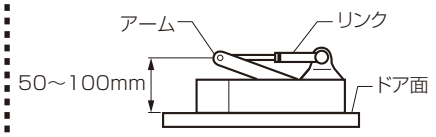
①クローザ本体を本体取付ブラケットに「①ブラケットの取付け」①で取外したブラケット固定ねじで取付けます。



②本体側のアームとリンクをM5×10アプセットボルト(平座金付)で固定します。

お願い

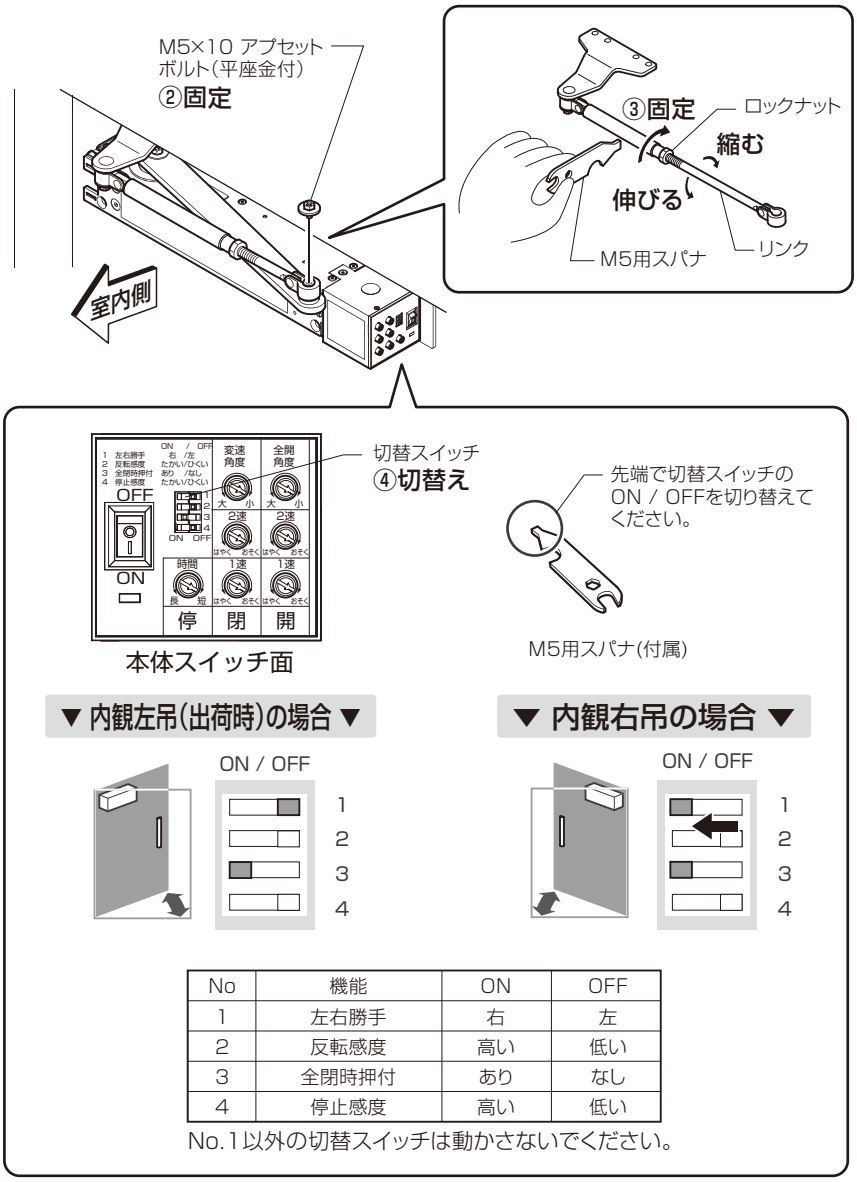
※ドア面からアームとリンクの結合部までの距離が50～100mmになるように角度を調節してください。
角度調整はリンクのロックナットを緩めリンクの長さを調整してください。



真下から見た図

③リンクのロックナットをスパナで締め付けてリンクの長さを固定します。

④本体側面にある本体スイッチ面の切替スイッチの「No.1」を切替えます。



No	機能	ON	OFF
1	左右勝手	右	左
2	反転感度	高い	低い
3	全閉時押付	あり	なし
4	停止感度	高い	低い

No.1以外の切替スイッチは動かさないでください。

配線の取付け

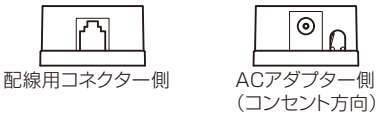
■配線ボックスの取付け

お願い
※作業を行う前に、本体の電源スイッチがOFF になっていることを確認してください。

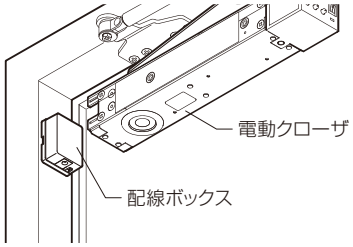
①本体の高さに合わせ、配線ボックスを設置します。

お願い
※コンセントの位置に合わせて配線ボックスの向きを変更してください。

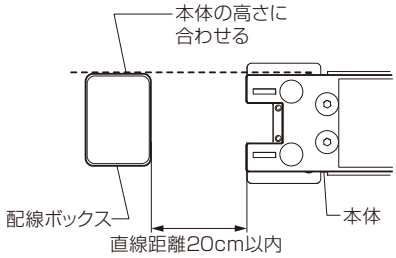
配線ボックス上面・下面



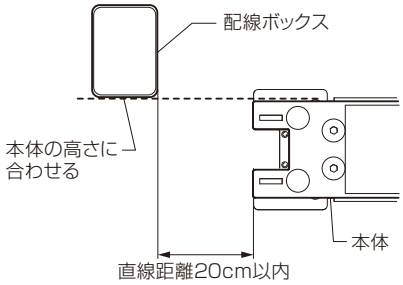
※配線ボックスは、本体の高さに合わせて設置してください。
※配線ボックス端部と本体コネクタ間が直線距離で20cm以内になるよう設置してください。
（20cmの紐が届く距離）
設置が難しい場合は額縁見込み面への取付けも可です。
その際、開閉時に干渉がない事を確認し取付けてください。



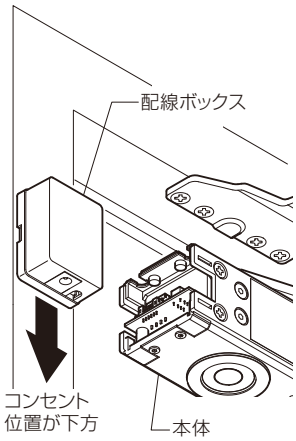
配線用コネクターが上側



配線用コネクターが下側

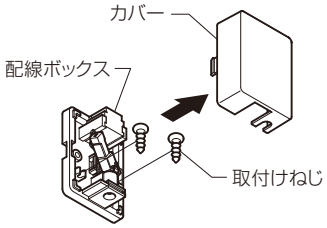


※現場に応じて、石膏ボードアンカー（現地手配品）を使用して取付けてください。

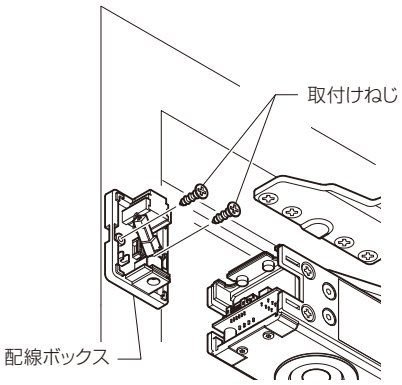


※図はコンセントが下方にある場合を表しています。

②配線ボックスのカバーを開き、配線ボックス内部の取付けねじ２本を取り出します。



③両面テープを剥がし本体の高さに合わせて仮止めした後、配線ボックスを取付けねじ２本で固定します。



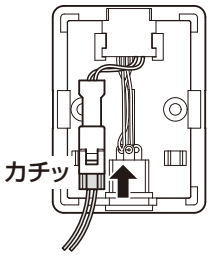
⚠警 告

●取付けねじを取付ける際、配線ボックス内の線を傷つけないように注意してください。火災や破損のおそれがあります。

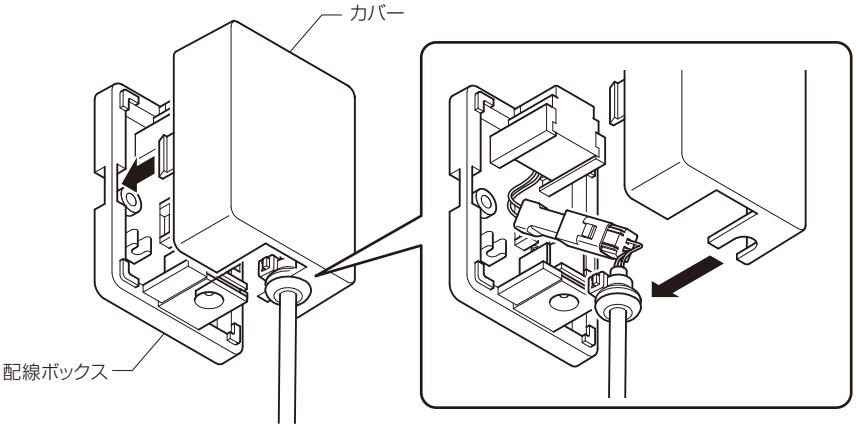
お願い

※電動ドライバーは使用しないでください。高トルクのため、部品が破損し不具合につながる原因になります。

④本体吊元側から引き出した躯体内配線と配線ボックスのコネクターを接続します。



⑤配線ボックスのカバーに躯体内配線を組付け、カバーをはめこみます。

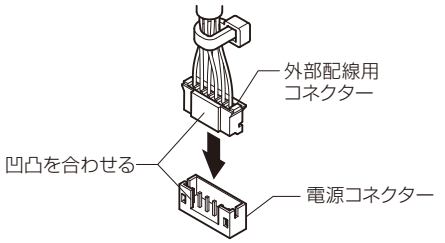


■配線の接続

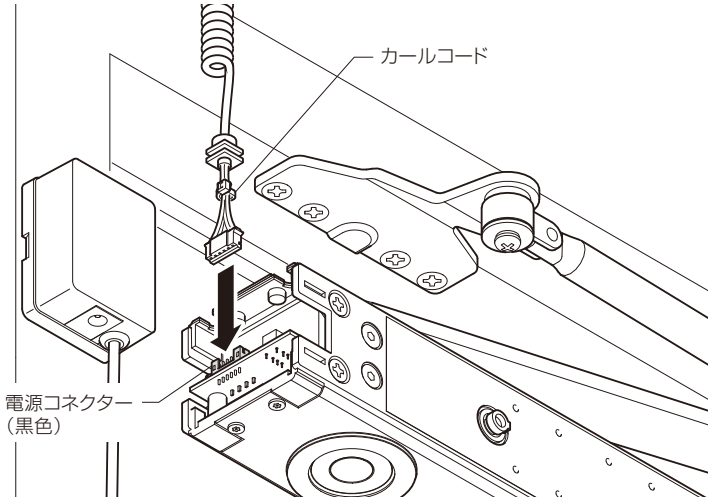
①カールコードを電源コネクターに接続します。

お願い

※コネクターの向きを確認して接続してください。



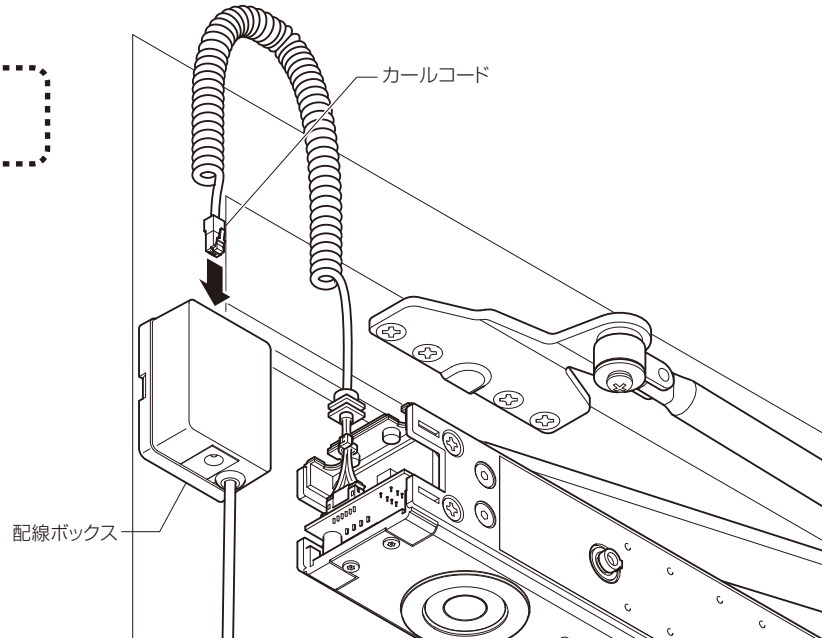
※枠に手が当たって作業がし
づらい場合は、ドアを開ける
と作業が容易になります。



②カールコードを配線ボックスに接続します。

お願い

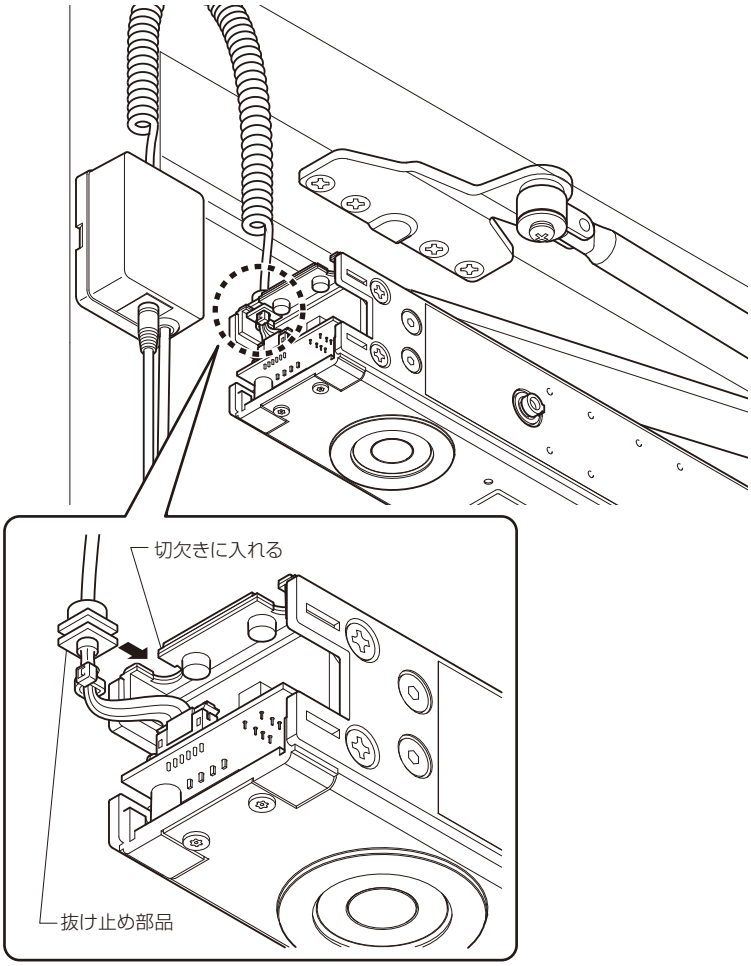
※カールコード無理に引っ張らないでください。
伸びてしまうことがあります。



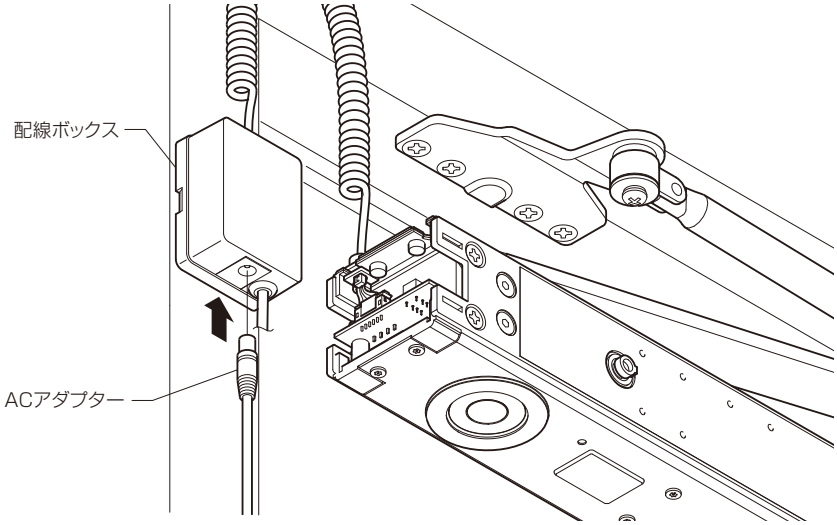
③コードの抜止め部品を本体取付面側の切欠きに引っ掛けてください。

お願い

※施工中、配線を取り付けない期間がある場合、コネクタへ埃が入らないよう養生してください。



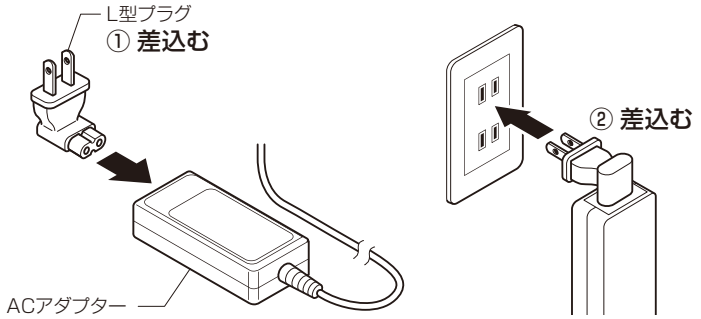
④AC アダプターを配線ボックスに接続します。



■コンセントプラグの差込み

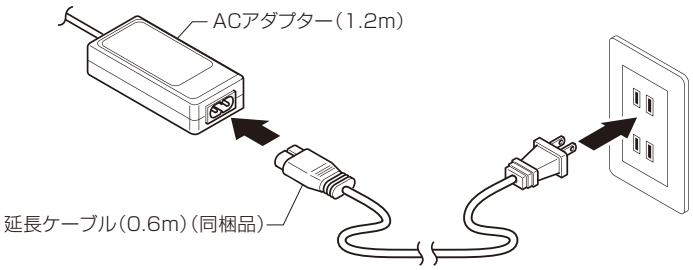
①L型プラグをACアダプターの先端に
差込みます。

②L型プラグをAC100Vコンセントへ
差込みます。

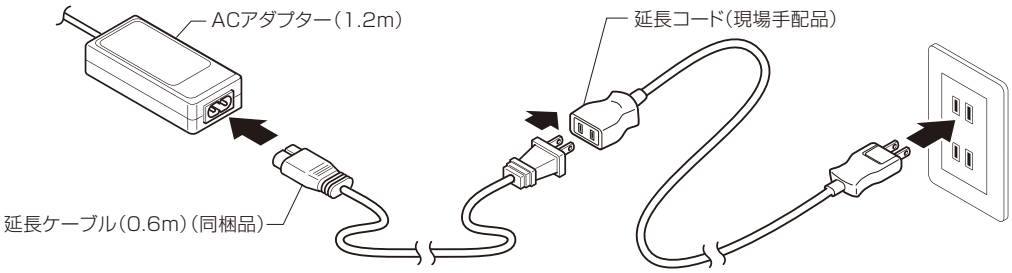


お願い

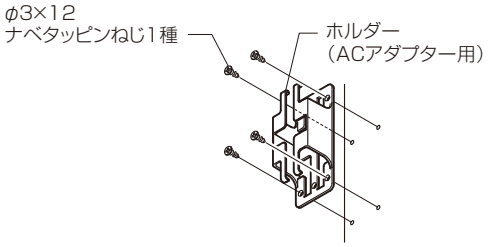
※コンセントを推奨位置に設置できない場合は、付属の延長ケーブルをACアダプターに差込んでご利用ください。
付属の延長ケーブルで長さが足りない場合は、延長コード(現地手配品)が別途必要です。



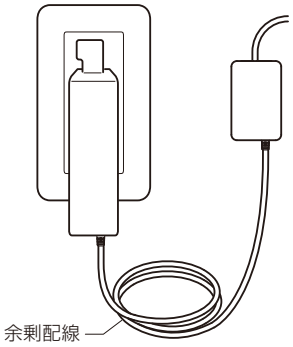
※付属の延長ケーブルで長さが足りない場合



※付属の延長ケーブルを使用する場合、ホルダーを壁にφ3×12ナベタッピンねじ1種で取付け、ACアダプターを固定してください。必要に応じ、石膏ボードアンカーを使用して取付けてください。



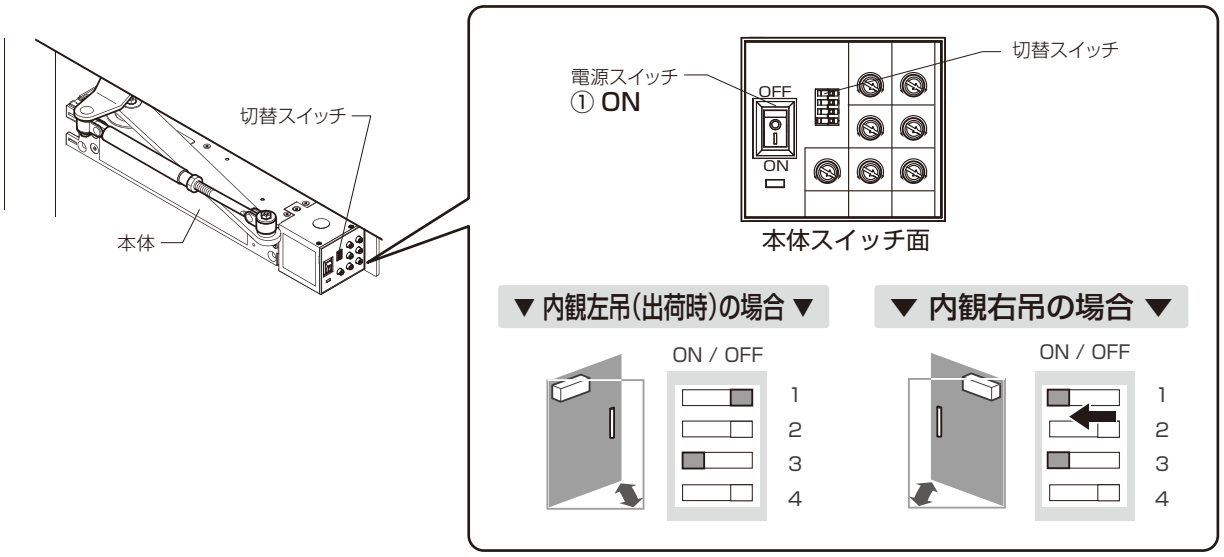
③配線が余った場合は、必要に応じて束
ねてください。



作動確認

■電源投入

①安全のため玄関ドアを閉め、施錠をした状態で、電源スイッチを「ON」に設定します。
　電源スイッチを「ON」にすると、クローザ本体側から「ピッピッ」と音が鳴り、玄関ドアが閉まる方向に動こうとします。



お願い

※本体の切り替えスイッチが正しく設定されているか確認してください。
※配線やコンセントが正しく接続されているか確認してください。
※本体、アームリンク、ブラケットの取付けねじにゆるみがないか確認してください。
※作動確認の際には必ず周りに人や障害物がないことを確認してください。
※電源スイッチを入れたとき､ドアが開いてしまう場合は切替スイッチの左右開き設定が間違っています｡電源スイッチを切り、切替スイッチの左右開きを再度設定してから電源スイッチを入れてください。

■クローザの作動確認

室内側より扉をかるく押し、電動で開閉するか確認してください。
動かない場合は、配線の接続を再度確認してください。

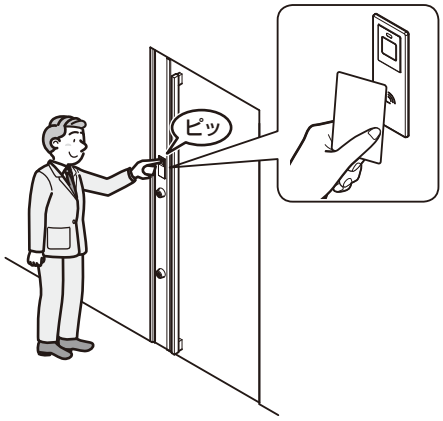
■電気錠の作動の確認

FamiLock 取付け説明書の動作確認を参照してください。

■電気錠とクローザの連動確認

電気錠と連動して扉が開くか確認してください。
電気錠の操作方法はFamiLock 取付け説明書の動作確認を参照してください。
連動しない場合は、躯体内配線コードや配線ボックスの接続を確認してください。

①タッチボタンを押し、カードキーを「 」マークにかざします。



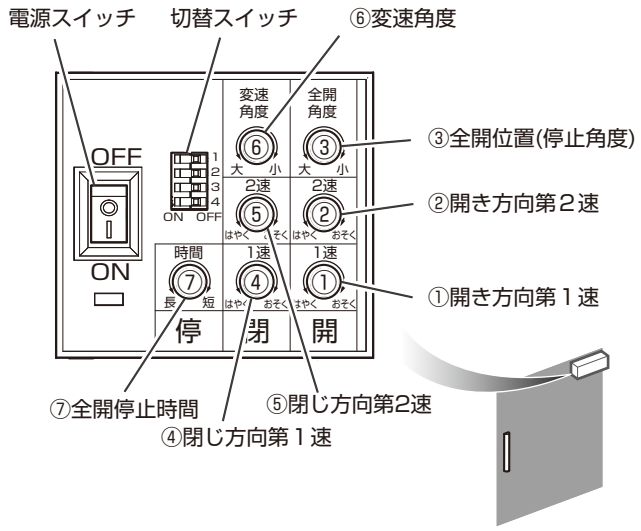
②玄関ドアが自動で全開まで開き、反転して自動で閉まります。

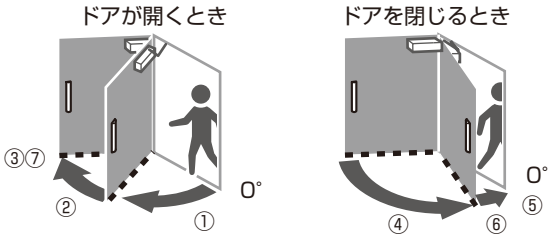
■全開位置&開閉速度の調整

お願い

※使用環境を確認の上、必要に応じて全開位置や開閉速度等の設定を再調整してください。
※速度調整ねじを左右いずれかに回転させます。適正速度は、ドアの閉じ始めから閉じ終わりまで5～8秒位です。

スイッチの配置と対応する調整区間・初期設定



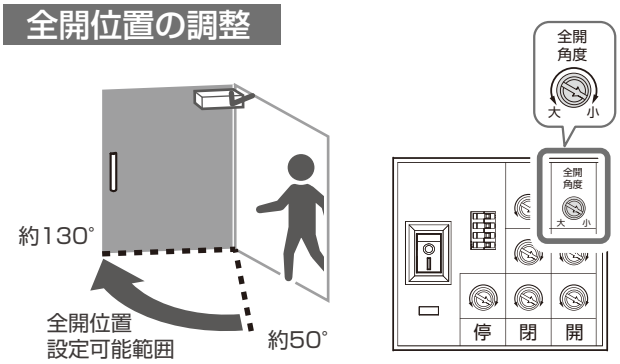


初期設定（出荷時の調整）（※）

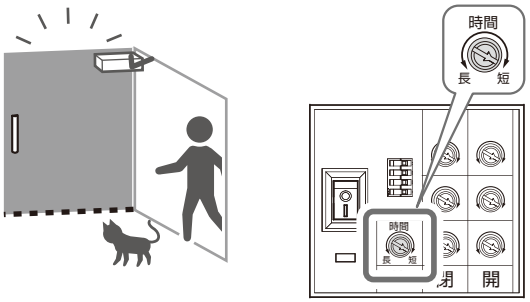
開き速度（①＋②）	…… ５～８秒
閉じ速度（④＋⑤）	…… ５～８秒
全開位置（停止角度）（③）	… 50～70°
全開停止時間（⑦）	…… ０秒
変速角度（⑥）	…… 最小

※取付位置・ドア重量によって、角度・速度の値が変化します。

全開位置の調整



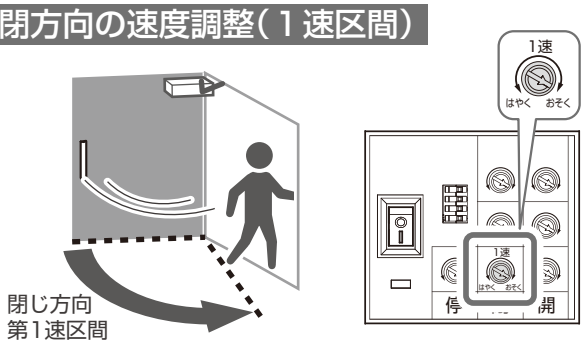
全開停止タイマーの調整



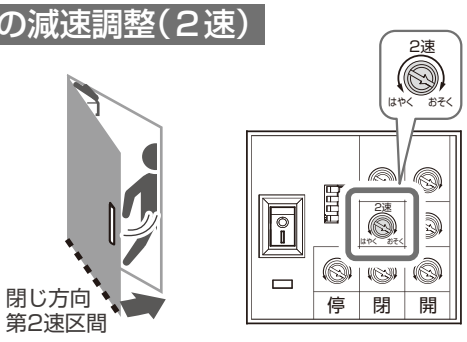
開方向の速度調整（１速区間）

開方向の減速調整（２速区間）

閉方向の速度調整（１速区間）



閉方向の減速調整（２速）



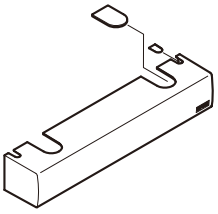
カバーの取付け

①本体側の取付穴にカバーの突起を圧入して取付けてください。

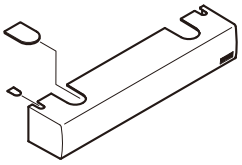
お願い

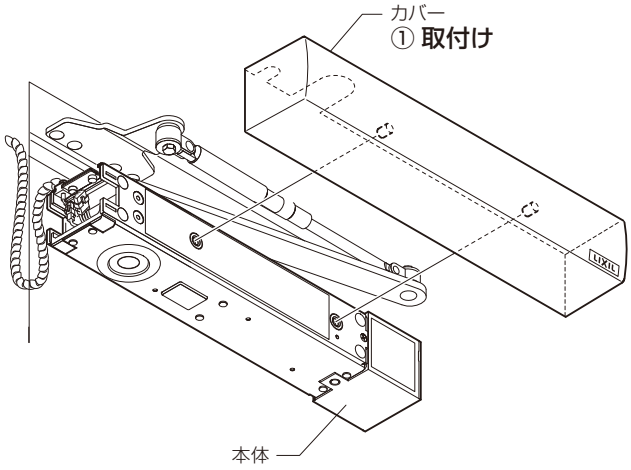
※玄関ドアの吊方向に合せて、本体カバーのシャフトカバーとゴムキャップを左右で付け替えてください。

▼内観左吊（出荷時）の場合▼



▼内観右吊の場合▼





商品仕様

■電動ドアオープナー

入力電源仕様	AC100V（50/60Hz）
駆動電圧/電流	DC12.4V 1.5A
最大使用電力	15W
勝手方向	左右勝手兼用
使用環境温度範囲	−10～ 50℃

MEMO

MEMO

MEMO